

#### 4-5 三宅島近海（西方沖）の地震活動（1994年1月～2月）

Seismic Activity west off the Miyakejima Island (January-February, 1994)

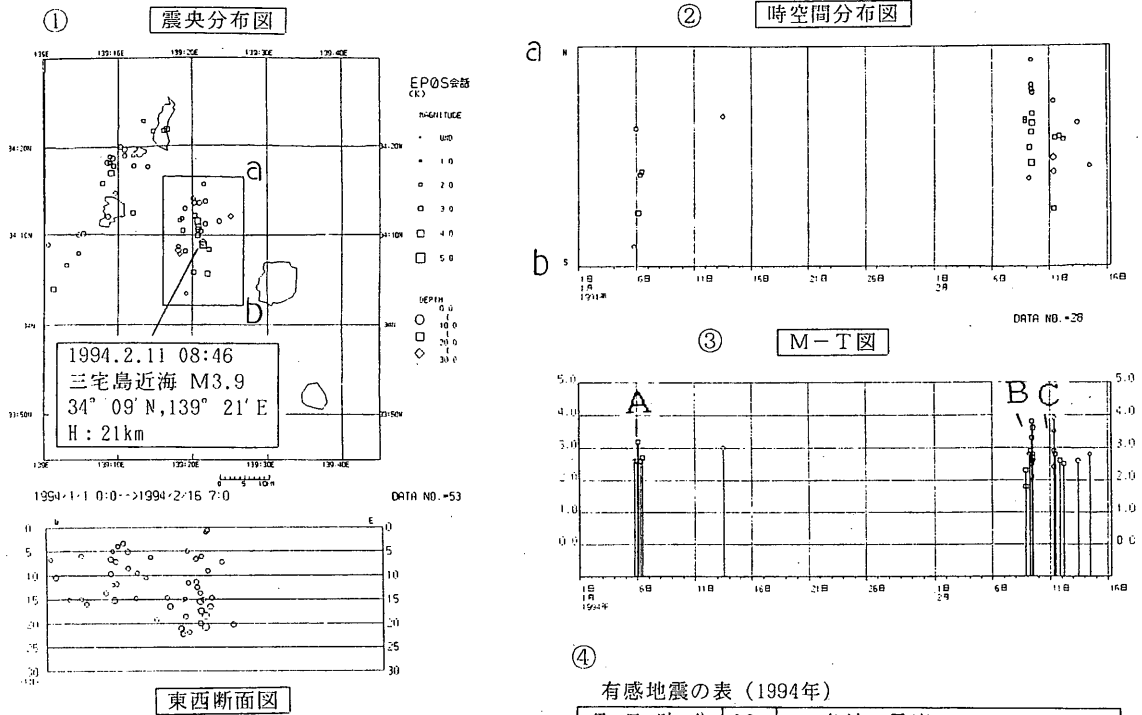
気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

1994年1月から2月にかけて、三宅島と新島・神津島間の海域で最近珍しく、M3クラスの地震を含む小規模な地震活動があった。三宅島の西方沖で1月5日から6日にかけて5個の震源が決まった。最大は6日のM3.2（深さ17km）の地震だった。また、13日にもこの付近でM3.0（深さ20km）の地震があった。1月の活動に続き、同じ海域で2月8日から12日にかけて、まとまった活動が見られた。2月8日から9日にかけて13個の震源が決定され、最大は9日のM3.8（深さ18km、最大震度3：神津島）だった。また、11日から12日にかけても7個の震源が決定され、最大は11日のM3.9（深さ21km、最大震度2：三宅島）の地震だった（第1図）。

1984年以降、三宅島の西方沖ではM3クラスの地震を含み散発的に地震活動があり、1991年はやや発生数が多かった。しかし、今回の活動のようにまとまった活動はなかった。1990年以降の伊豆諸島周辺の地震活動は、東海道はるか沖から北上し、銭洲海嶺沿いに新島・神津島に到る帯状の地域で活発だった。しかし、今回の活動はこの帯状の地域から西に離れた三宅島と新島・神津島間の海域で発生した（第2図）。

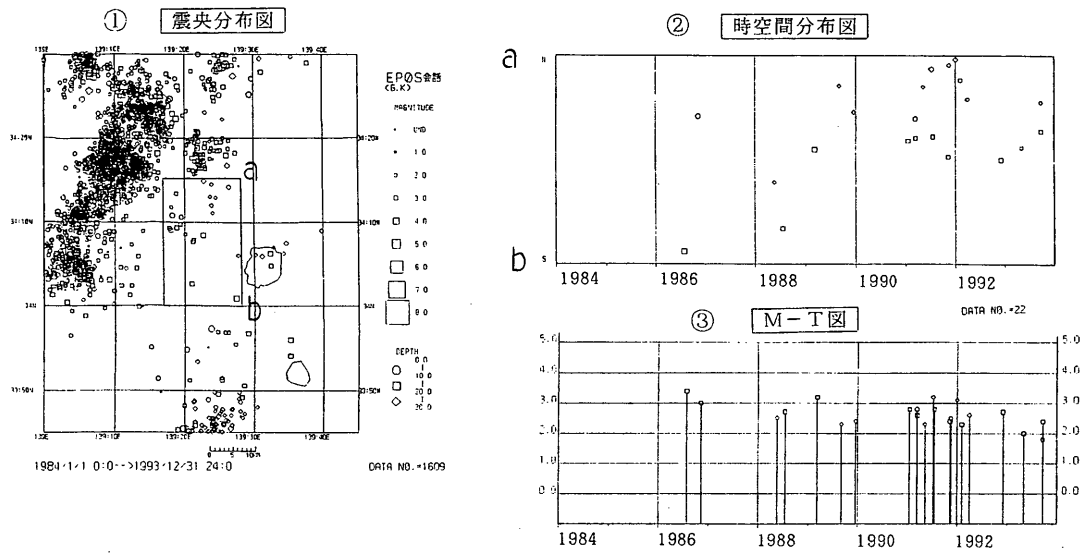
1962年の三宅島噴火の前後に三宅島の西方沖ではM5クラスの地震を含む活発な地震活動があった。また、1983年の三宅島噴火の際は三宅島の南方で活発な活動があったが、この付近ではM3クラスの活動のみで、目立った活動はなかった。また、1926年以降の活動を見ても、この地域では1962年以降M5以上の地震は発生していない。今後この地域の活動に注意する必要がある（第3図）。



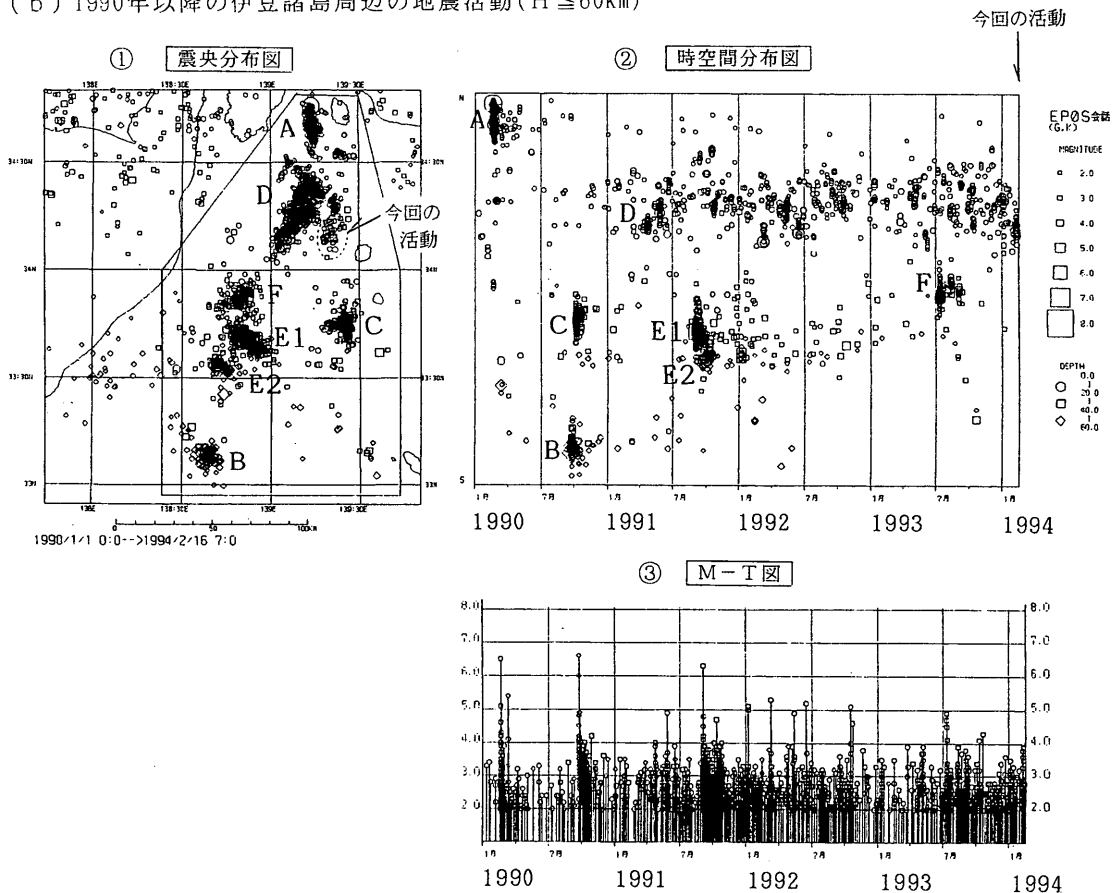
暫定 : 1993年9月→ (気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 三宅島近海 (西方沖) の地震活動 (1994年1月~2月)  
 ①: 震源分布, ②: 時空間分布, ③: M-T図, ④: 有感地震の表, ⑤: 期間別震央分布  
 Fig.1 Seismic activity west off the Miyakejima Island (January-February, 1994).  
 ①: Hypocentral distribution, ②: Space-time plot, ③: M-T diagram, ④: List of felt earthquakes, ⑤: Epicentral distribution by periods.

(a) 1984年以降今回の活動直前までの地震活動 ( $H \leq 30\text{km}$ )



(b) 1990年以降の伊豆諸島周辺の地震活動 ( $H \leq 60\text{km}$ )



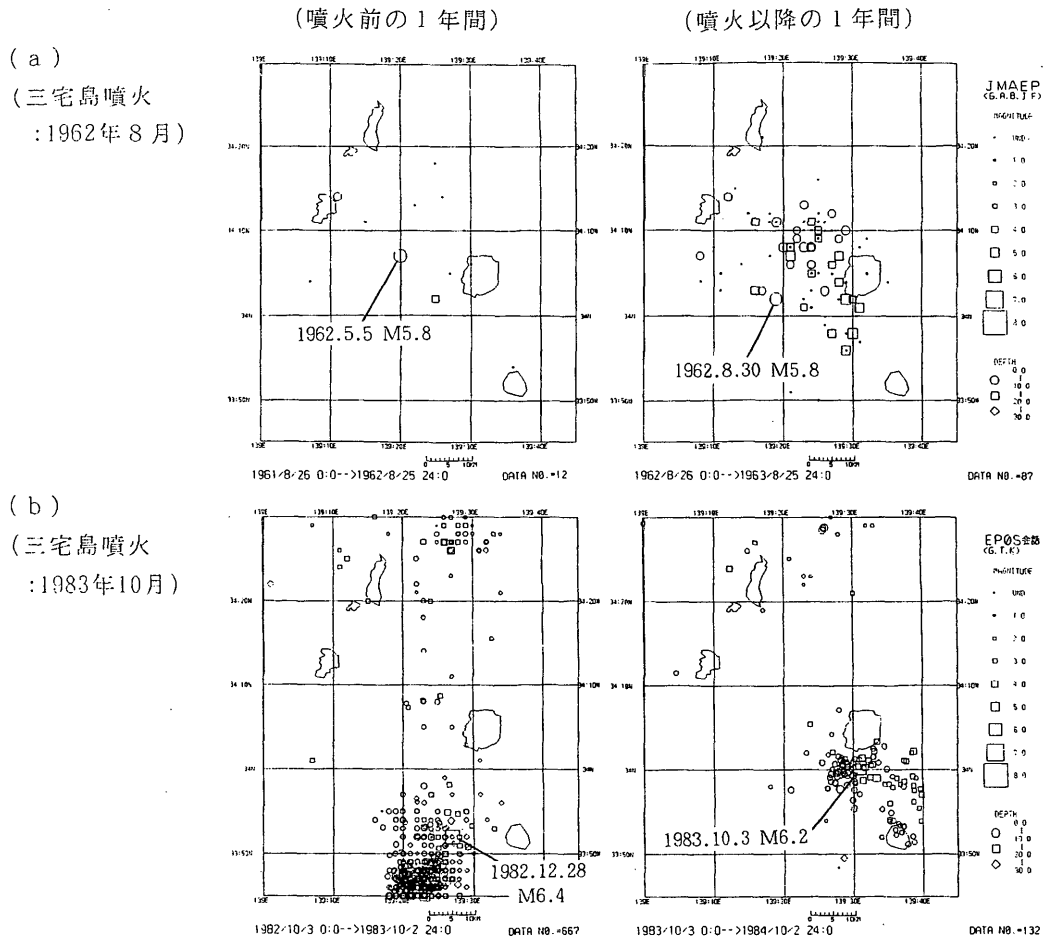
第2図 (a)三宅島近海(西方沖)の地震活動(1984年1月1日~1993年12月31日)と(b)伊豆諸島周辺の地震活動(1990年1月1日~1994年2月16日)

①:震央分布, ②:時空間分布, ③:M-T図

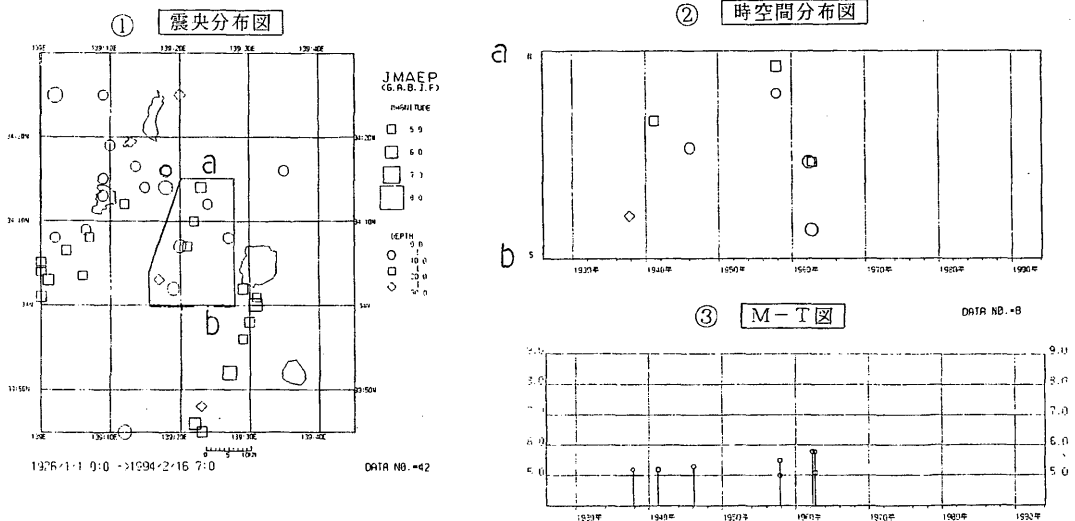
Fig.2 (a) Seismic activity west off the Miyakejima Island (January 1, 1984–December 31, 1993) and (b) Seismic activity in and around the Izu Islands (January 1, 1990–February 16, 1994).

①: Epicentral distribution, ②: Space-time plot, ③: M-T diagram.

(A) 1962年と1983年の三宅島噴火の前後の地震活動 ( $H \leq 30\text{km}$ )



(B) 1926年以降の地震活動 ( $M \geq 5$  ;  $H \leq 30\text{km}$ )



第3図 (A) 三宅島噴火の前後の三宅島周辺の地震活動((a) 1962年8月, (b) 1983年10月)と (B) 三宅島近海(西方沖)の地震活動(1926年1月1日~1994年2月16日  $M \geq 5$ , 深さ  $\leq 30\text{km}$ )  
①: 震央分布, ②: 時空間分布, ③: M-T図

Fig.3 (A) Seismic activity in and around the Miyakejima Island before and after eruptions of the Miyakejima ((a) August, 1962 and (b) October, 1983) and (B) Seismic activity west off the Miyakejima Island (January 1, 1926–February 16, 1994;  $M \geq 5$ , Depth  $\leq 30\text{km}$ ).  
①: Epicentral distribution, ②: Space–time plot, ③: M–T diagram.